

あとがき

2月の第2週に日本全土を襲った寒気はかなり厳しく、特に北日本では交通がマヒするなど随所に大きな影響が出ました。寒さとは関係のないはずの沖縄も連日曇りや雨、そして10℃台前半の気温と冷え込みが続き、朝晩はしっかり着込まないと寒さを感じるくらいの天候でした。

沖縄には、「医師の働き方改革」で休暇がとれてレジャーで訪れた……ならよいのですが、残念ながら仕事のために訪問しました。現在、事務総長を拝命している日本研究皮膚科学会では、皮膚科学領域での若手育成のために毎年この時期に「きさらぎ塾」を沖縄で開講しています。もう14回目になる「きさらぎ塾」ですが、私は幸運にも第1回の立ち上げから関わらせていただいております。ちょうど大学院生の卒業前後から、いわゆるポスドクくらいの皮膚科医、そして基礎皮膚医学者の先生が全国から集い、自分の研究内容について発表し、お互いにディスカッションしあうとともに、懇親の場を通じて施設を超えたネットワーキング＝横の広がりを築く大変よい機会であり、毎回大いに盛り上がりがあります。

今回も、はじめこそ参加者の先生方には緊張がみられましたが、2日目に各自のプレゼンテーション、講師陣のレクチャーとそれに対するディスカッションを通じてすっかり馴染み、3日目は旧知の友人のように交流の輪が拡がり熱心にコミュニケーションをとっている姿がみられました。昨今、前述の改革に伴い、ともすれば若手の自己研鑽意識をいかに保つかが課題とされていますが、それほど心配しなくてもよいのかもしれません。

研究は何もビペットを持って実験することだけを指すではありません。診断困難な症例に遭遇した際に、過去の文献を渉猟し、それに基づき特染や特殊検査を追加し診断に至る過程は研究で用いる思考そのものです。その意味からも、どのようなかたちであれ研究に関わることは臨床力を高めるための効率的な手法の一つと言えます。

研究で得た成果は世に広めてこそ意味があるものとなります。ぜひ読者の先生方も自ら得た新しい知見を本誌に発表いただきたいと思います。そうそう、「きさらぎ塾」の会場は寒波が気にならないくらい熱気に満ちていたこともあわせてご報告しておきます。

(大山 学)

【編集委員】

石河 晃
大山 学
阿部理一郎
玉木 毅
朝比奈昭彦
本田 哲也

臨床皮膚科 (第79巻 第3号)

2025年3月1日発行(毎月1回1日発行)

定価：3,190円(本体2,900円+税10%)

(2025年間購読料(増刊号を含む13冊、
税込、送料弊社負担)
冊子版 45,870円
電子+冊子版/個人 47,872円
電子版/個人 42,372円)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 編集室(03)3817-5715(担当：小松原・今田)

販売・PR部(03)3817-5650

ファクシミリ(03)3815-7802

E-mail: rinshifu@igaku-shoin.co.jp

印刷所 三美印刷(株)

広告取扱 (株)文京メディカル 電話(03)3817-8036

別刷取扱 販売・PR部 電話(03)3817-5696

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2025, Printed in Japan.
- 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。
- 本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- 【JCOPY】(出版者著作権管理機構 委託出版物)
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。
- 医学書院ホームページ(インターネット)は<https://www.igaku-shoin.co.jp>です。
- 「臨床皮膚科」URL <https://www.igaku-shoin.co.jp/journal/412>
- 「臨床皮膚科」は株式会社医学書院の登録商標です。